

平成22年度岩手県内の事業概要について

平成22年度 国直轄の公共事業のうち、東北地方整備局岩手県内事務所の河川・ダム・砂防・道路・港湾等に関する事業概要についてお知らせします。

岩手県内の東北地方整備局関係事務所の平成22年度当初予算としては、約440億円が計上されております。

1. 平成22年度 岩手県内工事関係費総括表
2. 岩手県内事務所及び管理所の事業内容
岩手河川国道事務所
胆沢ダム工事事務所
三陸国道事務所
釜石港湾事務所

このお知らせは、下記記者クラブに同時発表しています。

- | | |
|------------|-------------|
| ○岩手県政記者クラブ | ○東北専門記者会 |
| ○奥州市政記者クラブ | ○一関市政記者クラブ |
| ○宮古記者クラブ | ○釜石記者クラブ |
| ○大船渡記者クラブ | ○久慈地区報道関係各社 |

問い合わせ先

◎国土交通省 東北地方整備局

○岩手河川国道事務所 TEL 019-624-3131 (事務所代表)

(河川関係) 副所長 瀧澤 靖明

工務第一課長 奥山 吉徳

TEL019-624-3198 (工務第一課直通)

工務第三課長 須藤 純二

TEL019-624-3199 (工務第三課直通)

(道路関係) 副所長 野呂 吉信

工務第二課長 齋藤 廣昭

TEL019-624-3195 (工務第二課直通)

○胆沢ダム工事事務所 TEL 0197-46-4711 (事務所代表)

副所長 小山 幸男 (内線204)

工務課長 佐々木 健一 (内線311)

○三陸国道事務所 TEL 0193-62-1711 (事務所代表)

副所長 伊藤 啓一 (内線204)

副所長 熊谷 茂則 (内線205)

○釜石港湾事務所 TEL 0193-22-9118 (企画調整課直通)

副所長 長尾 憲彦 (内線21)

企画調整課長 渡部 秀幸 (内線50)

岩手県内工事関係費総括表

(岩手河川国道事務所、胆沢ダム工事事務所、三陸国道事務所、釜石港湾事務所)

(単位:百万円)

予算科目	平成21年度 当初工事関係費	平成22年度 当初工事関係費	増減	伸率 H22/H21
河川事業	5,475	5,447	▲ 28	99.5%
道路事業	22,859	17,749	▲ 5,110	77.6%
砂防事業	1,099	1,488	389	135.4%
ダム事業	19,702	17,491	▲ 2,211	88.8%
港湾・海岸事業	2,749	1,791	▲ 958	65.2%
合計	51,884	43,966	▲ 7,918	84.7%

注1) 予算額は、本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を示す。

注2) 工事関係費は、業務取扱費を除く金額で記載。

岩手河川国道事務所

(単位:百万円)

予算科目	平成21年度 当初工事関係費	平成22年度 当初工事関係費	増減	伸率 H22/H21
河川事業	5,475	5,447	▲ 28	99.5%
砂防事業	1,099	1,488	389	135.4%
道路事業	10,203	8,691	▲ 1,512	85.2%
合計	16,777	15,626	▲ 1,151	93.1%

胆沢ダム工事事務所

(単位:百万円)

予算科目	平成21年度 当初工事関係費	平成22年度 当初工事関係費	増減	伸率 H22/H21
ダム事業	19,702	17,491	▲ 2,211	88.8%
合計	19,702	17,491	▲ 2,211	88.8%

三陸国道事務所

(単位:百万円)

予算科目	平成21年度 当初工事関係費	平成22年度 当初工事関係費	増減	伸率 H22/H21
道路事業	12,656	9,058	▲ 3,598	71.6%
合計	12,656	9,058	▲ 3,598	71.6%

釜石港湾事務所

(単位:百万円)

予算科目	平成21年度 当初工事関係費	平成22年度 当初工事関係費	増減	伸率 H22/H21
港湾事業	2,580	1,580	▲ 1,000	61.2%
海岸事業	169	211	42	124.9%
合計	2,749	1,791	▲ 958	65.2%

平成22年度 岩手河川国道事務所の事業概要

平成22年 3月29日

国土交通省東北地方整備局
岩手河川国道事務所

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所
盛岡市上田四丁目2-2

019-624-3131 (事務所代表)

〔河川関係〕

副 所 長 たき 瀧 さわ 澤 やす 靖 あき 明 (内線204)

工務第一課長 おく 奥 やま 山 よし 吉 のり 徳 (内線311)

019-624-3198 (工務第一課直通)

工務第三課長 す 須 とう 藤 じゆん 純 じ 二 (内線321)

019-624-3199 (工務第三課直通)

〔道路関係〕 副 所 長 の 野 ろ 呂 よし 吉 のぶ 信 (内線205)

工務第二課長 さい 齋 とう 藤 ひろ 廣 あき 昭 (内線411)

019-624-3195 (工務第二課直通)

岩手河川国道事務所の平成22年度当初予算は、約156億円（平成21年度当初 約168億円：対前年比0.93）、うち河川工事関係費は約54億円、砂防工事関係費は約15億円、道路工事関係費は約87億円をもって事業を推進します。

1. 予算総括

[単位：百万円]

区 分	平成21年度 当初予算 (a)	平成22年度 当初予算 (b)	伸率 b/a	事業箇所等
河川関係	5,475	5,447	0.99	・北上川上流
砂防関係	1,099	1,488	1.35	・八幡平山系・栗駒山系
道路関係	10,203	8,691	0.85	・国道4号・46号・106号 ・新直轄事業：東北横断自動車道釜石秋田線 (遠野～東和間)
合 計	16,777	15,626	0.93	

注1) 予算額は、本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を示す。

注2) 工事関係費は、業務取扱費を除く金額で記載。

2. 主要概要

【河川事業】

- 一関遊水地事業
- 北上川中流部緊急治水対策事業（立花地区、八幡地区、紫波地区
二子地区、前沢地区）
- 北上川上流一関・川崎地区土地利用一体型水防災事業
- 盛岡地区かわまちづくり
- 北上川上流自然再生事業
- 北上川上流の管理区間における応急対策事業

【砂防事業】

- 八幡平山系直轄火山砂防事業
- 栗駒山系直轄特定緊急砂防事業

【道路事業】

- 東北横断自動車道釜石秋田線（遠野～東和間）新直轄事業
- 国道4号石鳥谷バイパス、盛岡北道路、国道46号盛岡西バイパス、国道106号都南川目道路などの改築事業
- 一般国道4号・46号の管理区間における交通安全対策事業、交通事故重点対策事業

平成22年度 主要事業の概要

河川事業

「継続事業の概要」

- 一関遊水地事業いちのせきゆうすいち（一関市、西磐井郡平泉町）【参照 P.9】

一関遊水地事業では、遊水地内の農地を中小規模の洪水から守るための「小堤」整備を推進します。また、磐井川改修のための用地取得を推進させるとともに、排水樋門等の整備に着手します。

- 北上川中流部緊急治水対策事業
（立花地区たちばな、八幡地区はちまん、紫波地区しわ、二子地区ふたご、前沢地区まえさわ）

（北上市、花巻市、紫波町、奥州市）

北上川中流部では、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水において住家を中心に甚大な浸水被害を受けたことから、早期に効果を発現する治水対策を実施します。

- ・北上市立花地区では、輪中堤整備を行い、一連区間での完成を目指します。
- ・花巻市八幡地区では、輪中堤整備を行い、一連区間での完成を目指します。

【参照 P.10】

- ・紫波町紫波地区（左岸彦部地区）では、排水樋門新設を行い、一連での完成を目指します。
- ・北上市二子地区では、測量設計、用地調査、用地補償を行います。
- ・奥州市前沢地区では、測量設計、用地調査、用地補償を行います。

- 一関・川崎地区土地利用一体型水防災事業みずぼうさい（一関市）【参照P.11】

宮城県境から一関遊水地下流までの区間（約26km）のうち、上流部の一関・川崎地区（一関遊水地下流～砂鉄川合流点）までの約10km区間において、治水対策として、宅地嵩上げ等の整備や用地確保等を実施します。

- 盛岡地区かわまちづくりもりおかし（盛岡市）【参照P.12】

多くの市民や観光客に利用されている北上川、中津川において、自治体のまちづくりや観光等にも水辺空間が利活用でき、かつ利用者の安全を確保し、確実な河川管理に資するため、管理用通路（散策路）等の整備を実施します。

○北上川上流自然再生事業（北上市）

北上川と和賀川わがの合流点において、近年、外来種等の樹木が繁茂し、河道内の陸地化が進行したことにより瀾筋みおすじ（川の流れ）が固定化され、かつての礫河原が消失したため、自然環境の多様性の阻害が懸念されています。このため、礫河原再生のための砂州撤去や樹木伐採を実施し、流水作用を活用した外来種抑制など生物の多様性の確保を推進します。

砂防事業

「完成施設の概要」

《八幡平山系直轄火山砂防事業》
どうがさわひがしさわ えんてい

○洞ヶ沢東沢第2砂防堰堤（八幡平市）

岩手山噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の本体工を引き続き整備し、**完成**を目指します。

「事業の概要」

《八幡平山系直轄火山砂防事業》
にしねまきのさわ えんてい

○西根牧野沢砂防堰堤（八幡平市）

【参照P.13】

岩手山噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の用地取得に着手します。

○洞ヶ沢東沢第1砂防堰堤（八幡平市）
どうがさわひがしさわ えんてい

岩手山噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤本体工の工事を推移し整備促進を図ります。

○小水無沢第1砂防堰堤（八幡平市）
こみずなしさわ えんてい

岩手山噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の用地を確保し整備促進を図ります。

○鬼又沢第3砂防堰堤（岩手郡滝沢村）
おにまたさわ えんてい

岩手山噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の工事に着手し、整備促進を図ります。

○クラカケ沢砂防堰堤（岩手郡滝沢村）
えんてい

岩手山噴火等による土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の工事に着手し整備促進を図ります。

○有根沢第1砂防堰堤（岩手郡雫石町）
ありねさわ えんてい げんぶ

岩手山噴火等による土砂災害から玄武温泉郷等を守るため、砂防堰堤の本体工の整備促進を図ります。

《栗駒平山系直轄特定緊急砂防事業》

○市野々原^{いちののばら}2号堰堤^{えんてい}（一関市）

平成20年6月14日発生「岩手・宮城内陸地震」において形成された河道閉塞箇所（天然ダム）において、土石流化する恐れのある流域内不安定土砂を捕捉し、土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の工事を実施します。

○横森^{よこもり}堰堤^{えんてい}（一関市）

【参照P. 14】

平成20年6月14日発生「岩手・宮城内陸地震」において、震源地に近い一関市の西側で大規模な地すべりや山腹崩壊が多数発生しました。土石流化するおそれのある不安定土砂を既設堰堤の機能強化（嵩上げ）により補足し、土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤嵩上げ工事に着手します。

○槻木^{つきのき}平^{だいら}堰堤^{えんてい}（一関市）

土石流化するおそれのある不安定土砂を既設堰堤の機能強化（嵩上げ）により補足し、土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の用地取得に着手します。

道 路 事 業

「供用事業の概要」

- 国道46号“^{もりおかにし}盛岡西バイパス”改築事業（盛岡市）【参照P.15】
交通混雑の緩和と、交通安全の確保等を目的とした、延長7,800mのバイパス事業で、平成21年度までにバイパス終点から5,600mについて部分暫定供用を図っており、平成22年度は飯岡新田地区のL=1,000mについて、部分暫定4車線供用を予定しているほか、残り1,200mについても引き続き事業を実施します。

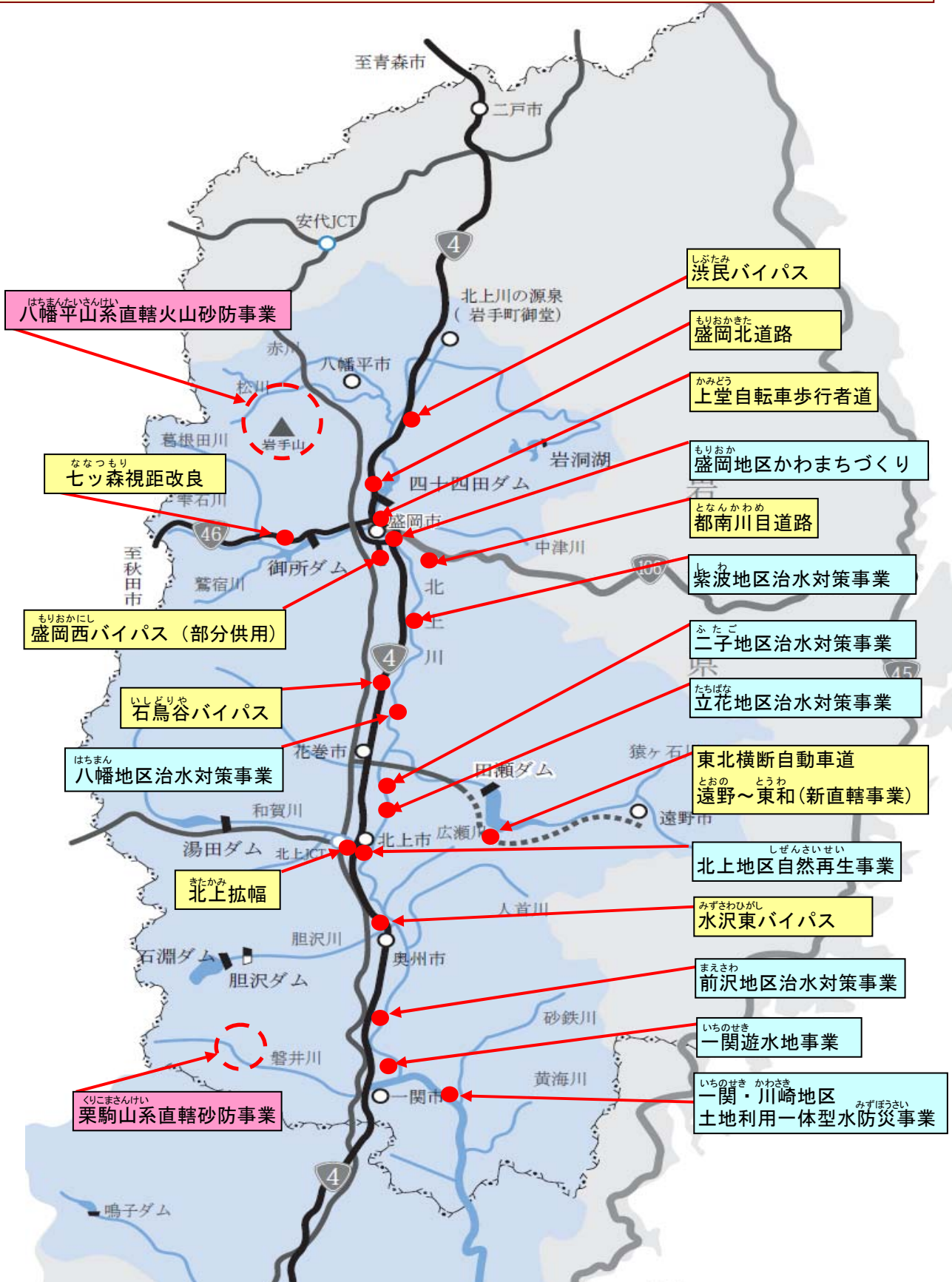
「事業の概要」

- 東北横断自動車道釜石秋田線“^{とおのとうわ}遠野～東和(新直轄区間)”改築事業
(遠野市、奥州市、花巻市)【参照P.15】
東北横断自動車道釜石秋田線(総延長約212km)の遠野～東和間(延長33km)について「新直轄方式」として、引き続き事業を実施します。
- 国道106号“^{となんかわめ}都南川目道路”改築事業（盛岡市）
都南川目道路は宮古盛岡横断道路の一部を構成しており、宮古市と盛岡市を結ぶ国道106号の線形不良による交通隘路区間の解消を図るとともに、東北縦貫自動車道へのアクセス機能を高め、広域的な交流の推進等を目的とした、延長6,000mのバイパス事業で、引き続き事業を実施します。
- 国道4号“^{いしどりや}石鳥谷バイパス”改築事業（花巻市、紫波郡紫波町）
石鳥谷地区を通過する国道4号の交通混雑緩和や交通安全の確保を目的とした、延長2,800mのバイパス事業で、引き続き事業を実施します。
- 国道4号“^{もりおかきた}盛岡北道路”改築事業（盛岡市、岩手郡滝沢村）
^{すご}菓子地区の国道4号の交通混雑緩和や交通安全の確保等を目的とした、延長3,600mの拡幅事業で、引き続き事業を実施します。
- 国道4号“^{かみどう}上堂歩道”交通安全事業（盛岡市）
上堂地区は盛岡市街地の北部に位置し、沿道の市街地化が進行し、自転車・歩行者の往来が多く、現況歩道幅では、相互のすれ違いが困難なため、電線類の地中化と合わせ、歩道事業を引き続き実施します。

○国道46号“^{なな}七ッ^{もり}森視距改良”交通安全事業（岩手郡雫石町）

七ッ森地区は雫石町東部に位置し、視距改良区間は前後の道路線形に比べ、見通しが悪い道路線形となっており、正面衝突や横転事故の多発区間となっております。交通事故削減を目的に、道路線形及び縦断線形の視距改良の事業を引き続き実施します。

平成22年度 事業箇所図 (岩手河川国道事務所)



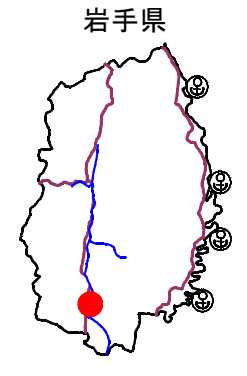
継続事業

事業名 一関遊水地建設事業(直轄)
(岩手県一関市・西磐井郡平泉町)

事業着手:昭和47年度

完成・供用の目標年度:平成30年代完成予定

事業の必要性・事業の概要

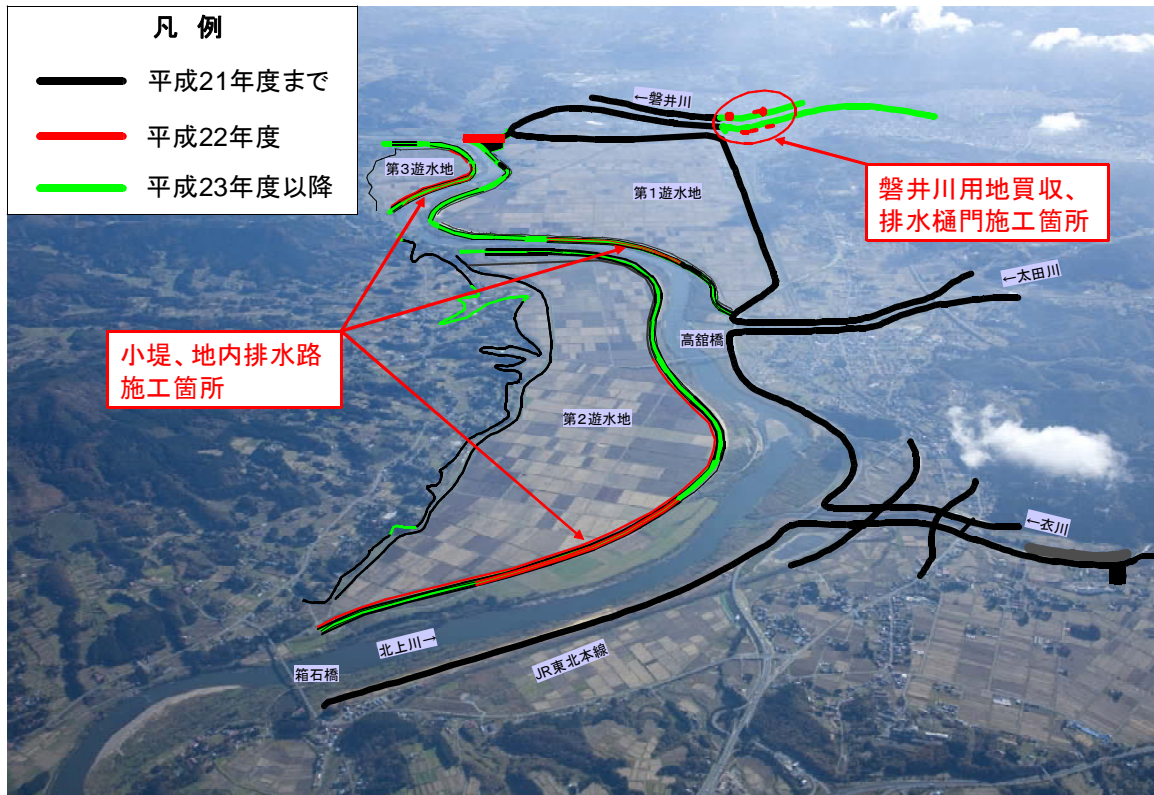


「事業の必要性」

一関遊水地は、北上川の治水の根幹をなす施設であり、一関市街地を洪水から防御する周囲堤と、遊水地内の農地を中小洪水から防御する小堤が計画されています。近年の平成19年9月洪水では、周囲堤の概成(H18)により、家屋浸水被害は生じなかったものの、遊水地内の農地1,410haが冠水し、洪水により運ばれた土砂や流木などにより地域の主要産業である稲作に被害が生じ、地域経済に大きなダメージを受けました。このため小堤整備の推進が必要になっています。また、磐井川においては、堤防の断面及び高さが不足し弱点箇所となっていることから、堤防整備が必要になっています。

「事業の概要」

小堤盛土を段階的に整備し、中小洪水からの遊水内の農地冠水防御対策を行うとともに、磐井川堤防改修のための用地取得及び排水樋門の改築を実施し、一関遊水地の事業進捗を図ります。



平成22年度事業費及び事業内容

- 工事関係費:約3,809百万円
- 第1・第2・第3遊水地小堤段階盛土の整備を実施。
磐井川堤防改修のための用地取得及び排水樋門改築を実施。

事業効果

- 小堤の施工により、第1遊水地820ha、第2遊水地470ha、第3遊水地160haにおける、中小洪水による浸水被害を軽減します。
- 磐井川堤防の改修により、堤防の断面・高さ不足を解消し、治水安全度を向上させます。

継続事業	
事業名	北上川中流部緊急治水対策事業(八幡地区) (岩手県花巻市)

事業着手：平成19年度	完成・供用の目標年度：平成22年度完成予定
-------------	-----------------------

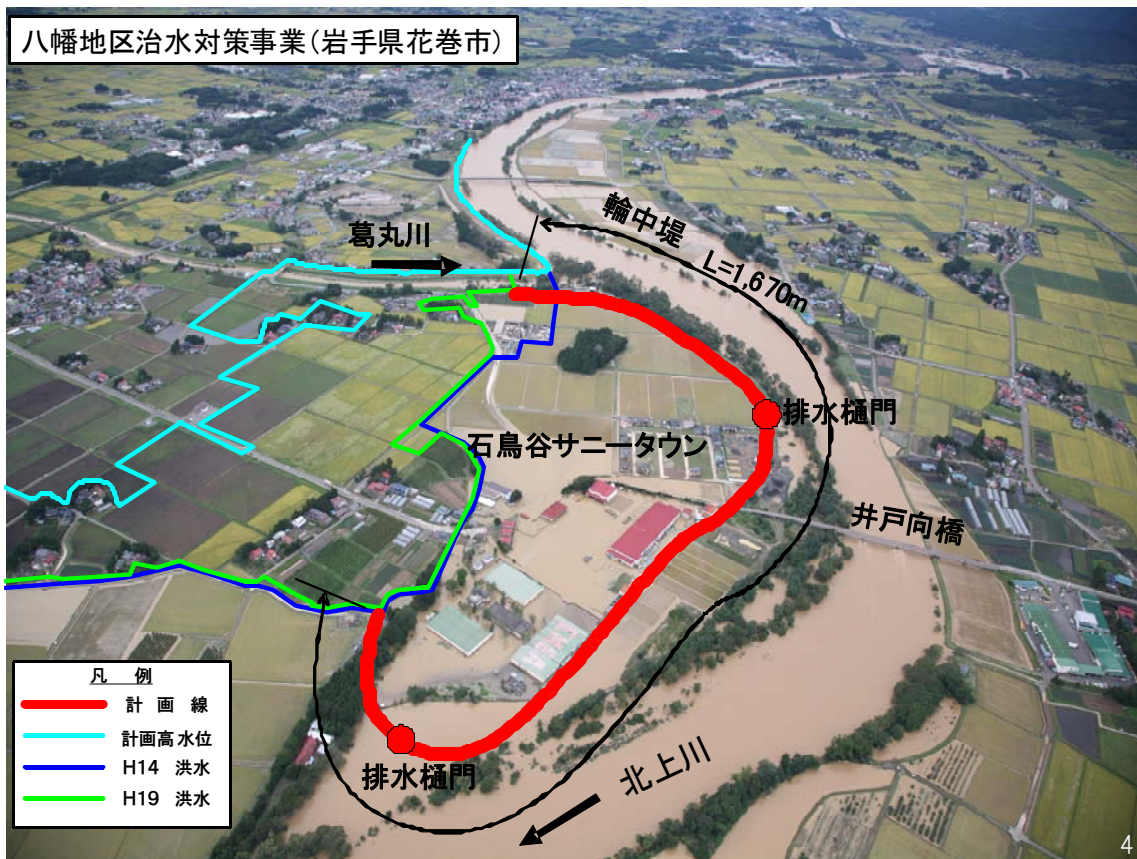
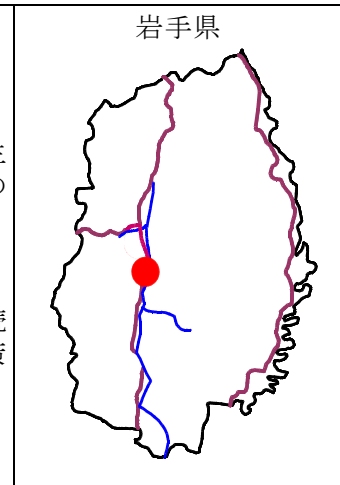
事業の必要性・事業の概要	
--------------	--

「事業の必要性」

花巻市八幡地区は、北上川上流右岸105km付近に位置し、平成14年7月洪水及び平成19年9月洪水により、僅か5年間で2度も甚大な浸水被害が発生しています。背後地には住家や工場等の資産が集中していることから、早期の治水対策が必要となっています。

「事業の概要」

花巻市八幡地区における住家の浸水被害を早期に解消するため、連続堤だけに寄らない治水対策を行います。平成22年度は、一連の治水対策完成を目指し、輪中堤の整備を行います。



平成22年度事業費及び事業内容

- 工事関係費：約185百万円
- 平成22年度は、輪中堤の整備を行い、一連区間における完成を目指します。

事業効果

- 過去の主要洪水であるH14.7洪水及びH19.9洪水から住家の浸水被害を解消します。

継続事業	
事業名	きたかみがわじょうりゅういちのせき・かわさき 北上川上流一関・川崎地区土地利用一体型水防災事業 (岩手県一関市)
事業着手：平成18年度	完成・供用の目標年度：平成22年度完成予定
事業の必要性・事業の概要	岩手県
<p>「事業の必要性」 宮城県境から一関遊水地までの区間(約26km)は、背後に山々が迫り、川幅が狭い狭隘部となっているとともに、川沿いに集落が点在しています。 一方、平成10年8月洪水(浸水家屋19戸)、平成14年7月洪水(浸水家屋41戸)による浸水被害や生活道路の冠水などによる集落の孤立化が生じているなど、早急な治水対策が急務となっています。</p> <p>「事業の概要」 狭隘部(約26km)のうち、上流の一関・川崎地区(一関遊水地～砂鉄川合流点)までの約10km区間において、平成22年度は一連の治水対策完成を目指し、宅地嵩上げ等の整備や家屋・用地の補償等を行います。</p>	
位置図(一関・川崎地区)	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>平常時</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>平成14年7月洪水状況</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>平常時</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>平成14年7月洪水状況</p>  </div> </div>
 <p style="text-align: center;">洪水時</p>	 <p style="text-align: center;">輪中堤 宅地嵩上げ</p> <p style="text-align: center;">対策</p>
平成22年度事業費及び事業内容	
<ul style="list-style-type: none"> ○工事関係費:約413百万円 ○平成22年度は川底地区等における宅地嵩上げ整備や家屋・用地補償等を実施します。 	
事業効果	
○宅地嵩上げ等を整備することにより、洪水時の安全な生活を確保します。	

継続事業

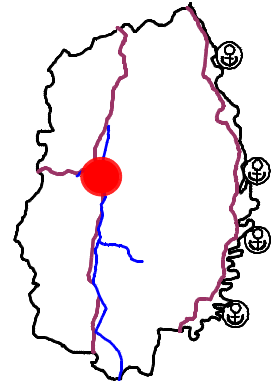
事業名 盛岡地区かわまちづくり
(岩手県盛岡市)

事業着手:平成21年度

完成・供用の目標年度:平成26年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県



「事業の必要性」

盛岡市は、北上川と中津川の合流点に位置し、盛岡城を中心に城下町として栄え、現在の県都へと変遷をたどっています。これらの河川は、市街地を流れる川でありながら豊かで美しい自然を有し、石積護岸が街の景観を形づくっている等、盛岡市のシンボリックな存在になっていて、年間を通して河川を利用する多くの市民や観光客が見られます。

このため、多数の河川利用者の安全確保のため、洪水時の避難や石積護岸など河川施設の日常管理に資する管理用通路(散策路)等の整備が望まれています。

「事業の概要」

本事業では、水辺空間を地元自治体等の行事や観光等に利活用できて、かつ安全な河川利用の促進と確実な河川管理に資するために、管理用通路(散策路)等の整備を実施します。



平成22年度事業費及び事業内容

- 工事関係費:約120百万円
- 平成22年度は、管理用通路(散策路)等の整備を実施します。

事業効果

- 安全な河川利用を促進します。
- 自治体のまちづくりや観光等にも利用できる河川管理施設の整備により、地域活性化を支援します。

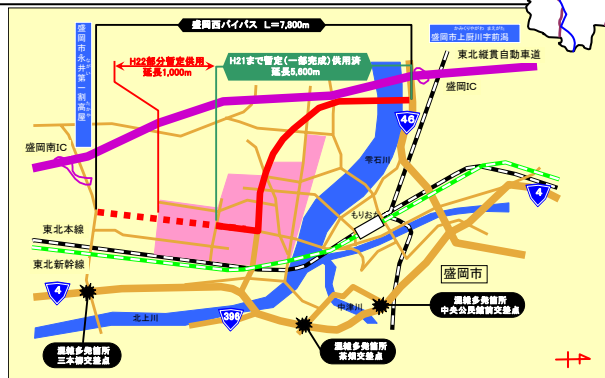
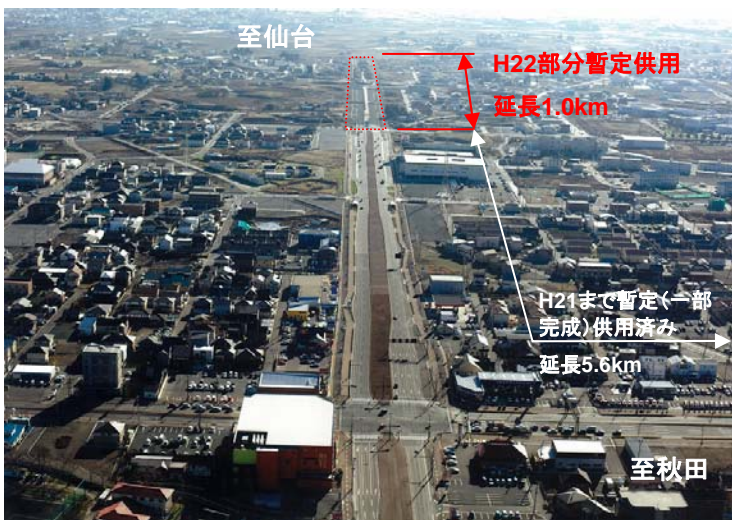
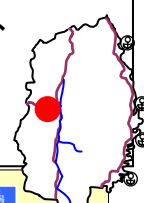
新規施設	
事業名	八幡平山系直轄火山砂防事業 <small>にしねまきのさわ えんてい</small> 西根牧野沢砂防堰堤(直轄) <small>はちまんたいし</small> (岩手県八幡平市)
事業着手:平成22年度	完成・供用の目標年度:平成27年度完成予定
事業の必要性・事業の概要	<div data-bbox="1134 353 1420 792" data-label="Image"> <p>岩手県</p> </div> <p>「事業の必要性」 西根牧野沢は、岩手山噴火後の降灰が降雨により土石流となり流れ下ることから、岩手山下流集落の生命と財産を土砂災害から守るため、早急な対策が必要となっています。</p> <p>「事業の概要」 西根牧野沢砂防堰堤 構造:鋼製スリット(J型)式 えん堤高・延長:H=13.5m L=365.5m 土砂整備効果量:約68千m³</p> <div data-bbox="679 741 1082 1025" data-label="Image"> <p>完成イメージ図</p> </div> <div data-bbox="193 891 1401 1742" data-label="Image"> </div>
平成22年度事業費及び事業内容	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 工事関係費:約44百万円 ○ 西根牧野沢砂防堰堤の用地取得に着手します。 	
事業効果	
○土砂災害から下流の人家5戸、別荘等を保全します。	

継続事業	
事業名	栗駒山系直轄特定緊急砂防事業 <small>よこもりえんてい</small> 横森堰堤(直轄) <small>いちのせきし</small> (岩手県一関市)
事業着手:平成21年度	完成・供用の目標年度:平成24年度完成予定
事業の必要性・事業の概要	<p>岩手県</p>  <p>「事業の必要性」 平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震(最大震度6強)による災害により、震源地に近い一関市の西側において、大規模な地すべりや山腹崩壊が多数発生しました。 土石流化するおそれのある流域内不安定土砂を補足し、土砂災害から人家等を守るため、砂防堰堤の整備を行います。</p> <p>「事業の概要」 ○横森堰堤 構造:コンクリート重力式(嵩上) えん堤高・延長:H=14.5m L=84.2m</p>
	
平成22年度事業費及び事業内容	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 工事関係費:約134百万円 ○ 横森堰堤の工事に着手し、整備促進を図ります。 	
事業効果	
○土石流化するおそれのある流域内不安定土砂を補足し、土砂災害から人家等を保全します。	

供用

[岩手県(盛岡市)](直轄) **国道46号 盛岡西バイパス**(H22部分暫定4車線供用)

- ・盛岡市内の国道4号及び国道46号の交通混雑や沿道環境を改善するためバイパスを整備し、現道交通の分散による交通の円滑化、交通混雑の緩和を図ります。
- ・H22年度工事関係費： 745百万円
- ・H22年度は、1.0km区間の部分暫定4車線供用に向け舗装工事等を実施します。



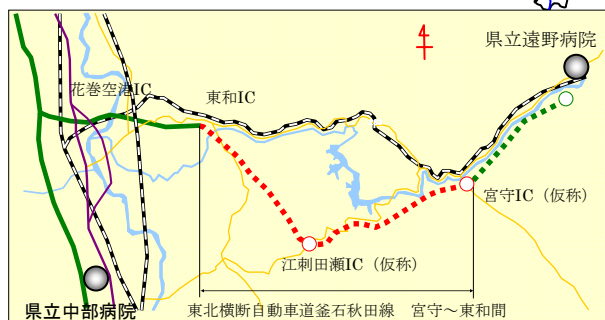
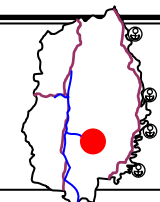
▲並行する国道4号の渋滞状況

継続

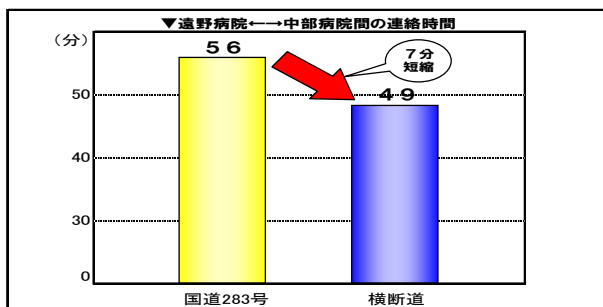
[岩手県(遠野市～花巻市)](直轄)

東北横断自動車道釜石秋田線 宮守～東和(H24供用予定)

- ・内陸部と沿岸部の高規格道路網を形成し、災害時の物資輸送、救命活動の安心・安定した走行が確保されます。
- ・H22年度工事関係費： 4,401百万円
- ・H22年度は、H24供用に向けて、改良及び橋梁工事等を実施します。



▼救急医療(2次間)のアクセス時間が改善されます



平成22年度胆沢ダム事業内容について

平成25年度のダム完成に向け、184億9,424万円の事業費で最盛期のダム本体工事を進めます。

平成22年度予算は3月24日に成立し、胆沢ダム建設事業分として下記内容が決定したのでお知らせします。

1. 胆沢ダム建設事業の現在の状況

胆沢ダム建設事業は、平成17年10月29日から「堤体盛立」を開始し、平成20年10月16日には堤体盛立量1,000万m³を達成いたしました。平成21年12月までの盛立進捗率は、約99%（残盛立高さ1m）、洪水吐コンクリート打設の進捗率は約94%です。

国道397号付替工事（延長7.3km）は、起点～ダムサイト上流部(L=4.0km 供用済みを除く)3.3km区間について地震復旧の工事を実施中です。

2. 平成22年度事業費

平成22年度事業費	184億9,424万円：業務取扱費込み
平成21年度事業費	228億3,715万円：業務取扱費込み
対前年度比	約0.81倍

3. 平成22年度事業の主な内容

本体関連工事については、堤体盛立及び洪水吐き工事を継続実施します。

付替道路関係では、国道397号の起点～ダムサイト上流部(L=4.0km 供用済みを除く)3.3km区間について、平成22年度供用を予定です。

また、市道尿前・槻木平線付替工事、林道付替工事の進捗を図ります。

そして、これらの工事実施により、平成25年度のダム完成に向け、計画的に事業を進めていきます。

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 胆沢ダム工事事務所
奥州市胆沢区若柳字下松原77 TEL0197-46-4711（代）
副所長（技術担当） 小山 幸男（内線204）
工務課長 佐々木 健一（内線311）

継続事業

事業名 いさわ
胆沢ダム建設事業（直轄）
いわて おうしゅう
（岩手県奥州市）

事業着手：昭和63年度

完成・供用の目標年度：平成25年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

岩手県

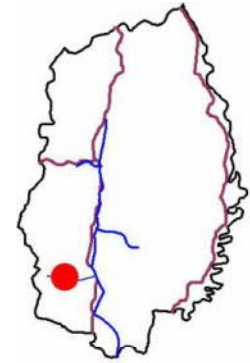
「事業の必要性」

胆沢ダムは、北上川の右支川胆沢川の上流に位置する奥州市胆沢区若柳地内に建設中の多目的ダムです。

胆沢ダムは、北上川本川と胆沢川の洪水調節、渇水時における正常な流水機能の維持、水道用水の供給、かんがい用水の補給、発電の5つの役割を担います。

「事業の概要」

- ダム諸元
 - ・総貯水容量：1億4,300万 m^3 ・高さ：132.0m ・堤頂長：723.0m
 - ・堤体積：1,350万 m^3 ・ダム型式：ロックフィルダム
- これまでの事業経緯
 - 平成17年度～ 堤体盛立
 - 平成22年3月末 堤体盛立進捗 99%（残盛立高さ1m）
- 総事業費：2,440億円、完成工期：平成25年度
 本體工事中の胆沢ダム <下流上空から>

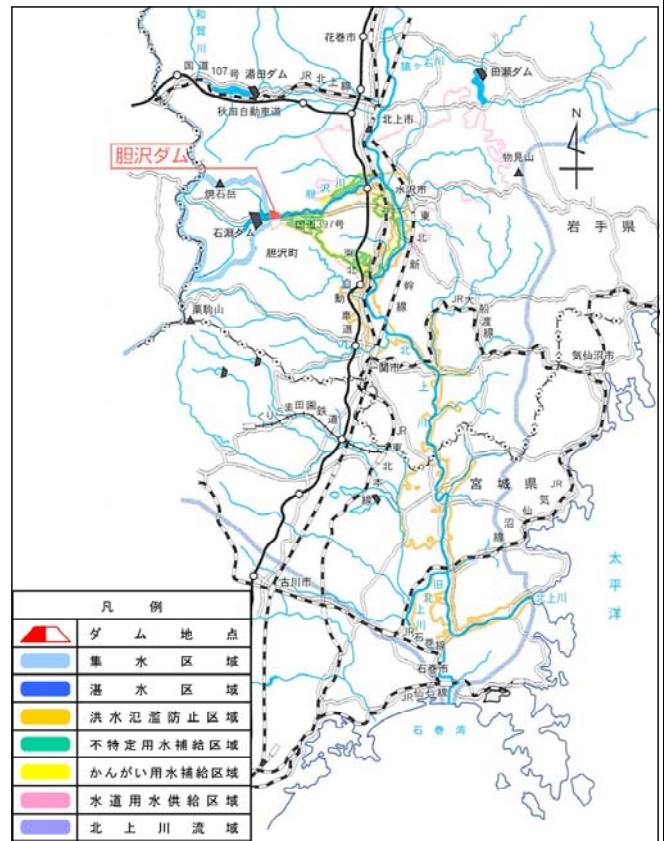


（赤枠はダム堤体の縁取り、平成21年11月撮影）

水沢工業団地浸水状況（H19.9洪水）



胆沢ダム計画概要図



平成22年度の予定

- 事業費：18,494百万円：業務取扱費込み
- 平成25年度完成に向け、ダム本體工、付替市道工事等を実施します。

事業効果

- ダム地点における洪水量（計画高水流量）2,100 m^3/s のうち1,830 m^3/s をダムに貯め、270 m^3/s を下流に放流する洪水調節を行うことにより、関連事業の整備と併せて北上川本川及び支川胆沢川の洪水被害の軽減を図ります。
- 奥州市、金ヶ崎町への水道用水の供給をはじめとする各種用水を安定的に確保し、渇水被害の軽減を図ります。

平成22年度

三陸国道事務所の事業概要について

平成22年 3月29日

国土交通省 東北地方整備局

三 陸 国 道 事 務 所

平成22年度 三陸国道事務所の予算概要

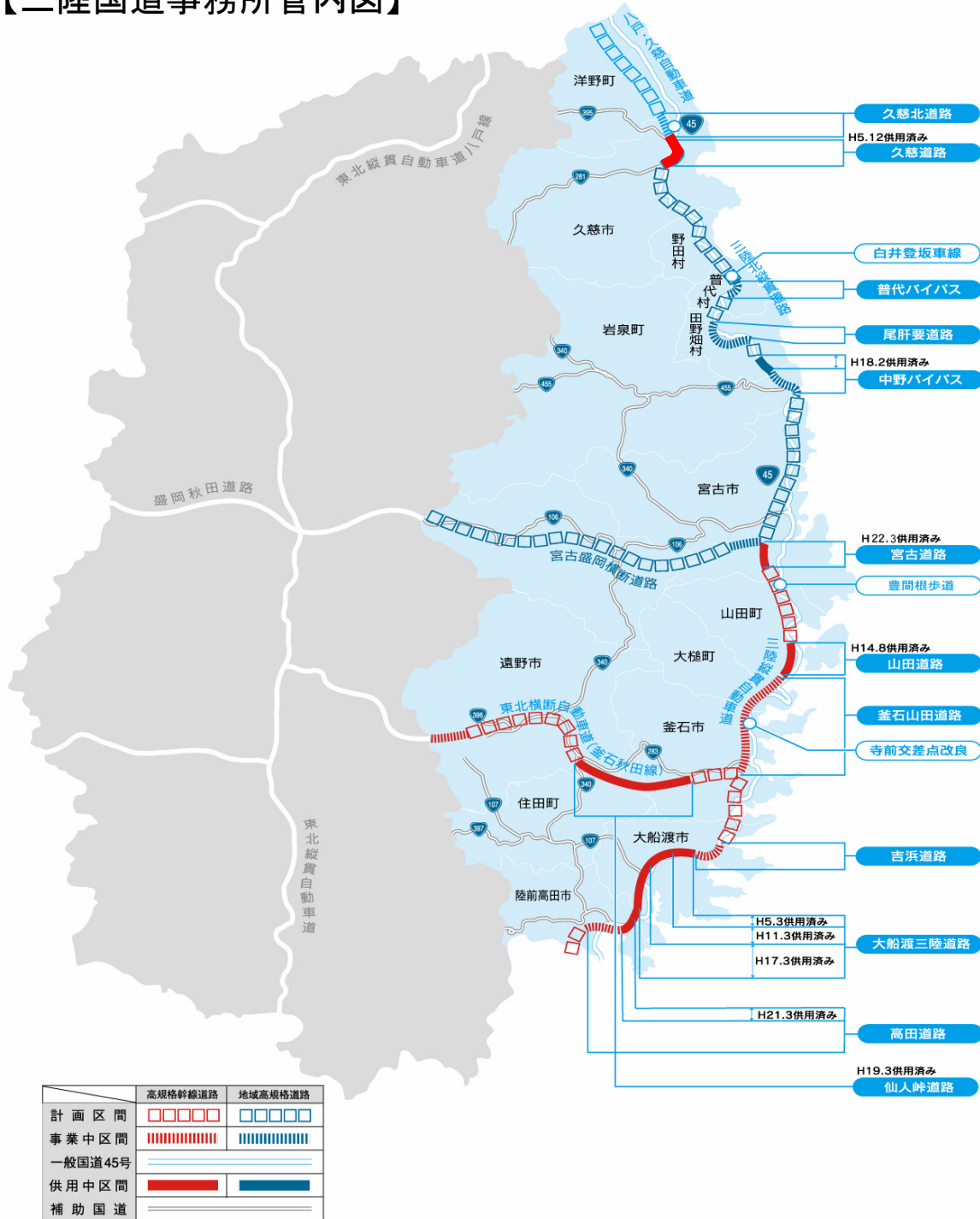
(単位:百万円)

予算科目	平成22年度 工事関係費
道路事業	9,058

注1)道路関係予算額は、本省記者発表の箇所表に記載している事業の合計額を示す。

注2)左記には業務取扱費を含んでおりません。

【三陸国道事務所管内図】



1. 平成22年度の重点事業

①高田道路の工事を実施します。

用地買収(高田地区等)および、改良工事(高田・米崎地区等)を実施します。

②吉浜道路の橋梁下部工工事を実施します。

用地買収(吉浜地区等)および、改良工事(吉浜地区等)、吉浜高架橋(延長373m)下部工工事を実施します。

③釜石山田道路の暫定部分供用を目指します。(事例1参照)

用地買収(新町・住吉地区等)および、先行整備区間である延長4.6kmについて、改良工事、橋梁工事、舗装工事を実施し、暫定部分供用を目指します。

④宮古道路の工事を実施します。

用地買収(松山地区等)および、閉伊川横断橋(延長335.4m)下部工工事を実施します。

⑤中野バイパスの全線供用を目指します。(事例2参照)

岩泉トンネル(延長1,986m)設備工事、舗装工事を実施し、全線供用を目指します。

⑥尾肝要道路のトンネル工事に着手します。

用地買収(姫松地区等)、改良工事(田野畑・姫松地区等)の実施、および尾肝要トンネル(延長2,736m)工事に着手します。

⑦普代バイパスの工事を実施します。

用地買収、改良工事(普代地区等)、羅賀高架橋(延長421m)下部工工事の実施、および上部工工事に着手します。

くじきた
⑧久慈北道路の用地買収に着手します。

くじきた
久慈北道路(延長7.4km)について、調査・設計等を実施し、一部用地買収に着手します。

とよまね
⑨豊間根歩道整備事業の完成を目指します。

やまだ とよまね
一般国道45号の山田町豊間根地内において、歩道の拡幅整備により、歩行者の安全確保を図るものであり、今年度は工事を実施し、完成を目指します。

(事例1)

事業名

かまいし [釜石市] 国道45号 かまいし やまだ 釜石山田道路 (H5~H22(部分暫定2車線供用))

事業概要

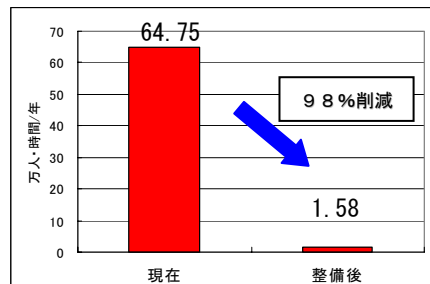
釜石山田道路は、仙台市と宮古市を結ぶ延長約220kmの「三陸縦貫自動車道」の一部であり、釜石市甲子町から下閉伊郡山田町船越を結ぶ延長23.0kmの自動車専用道路です。
 人流・物流ネットワーク構築のため、格子状骨格道路を整備し、交通の円滑化が図られます。
 ・H22年度は、先行整備区間(延長4.6km)の部分暫定2車線供用に向けて舗装工事等を実施します。
 ・平成22年度工事関係費:2,300百万円



▲整備が進む釜石山田道路(釜石市両石地区)



▲渋滞状況(釜石市鶴住居地区)



▲並行現道の渋滞損失時間の変化(試算)

事業名

しもへい いわいずみちよう たのはた なかの (事例2)
 [下閉伊郡岩泉町～下閉伊郡田野畑村] 国道45号 中野バイパス
 (S61～H22(全線完成2車線供用))

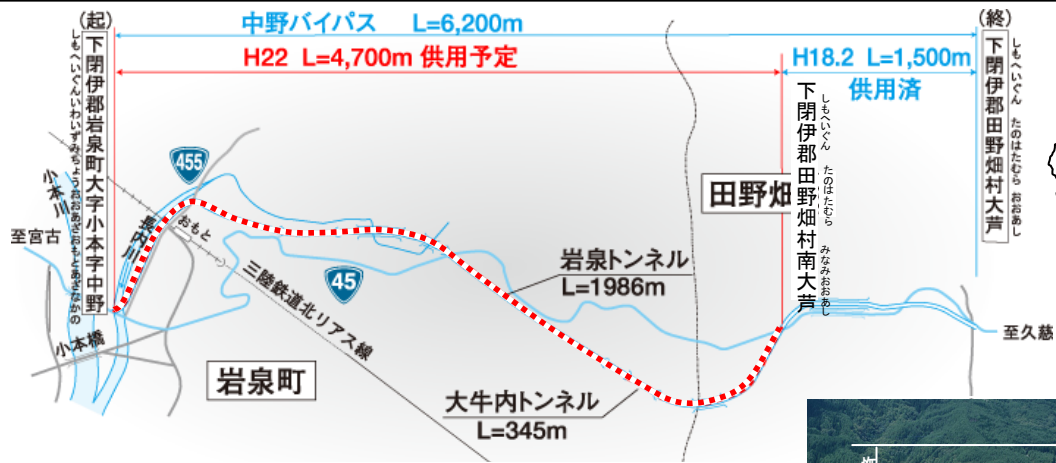
事業概要

中野バイパスは、宮古市と久慈市を結ぶ延長約90kmの「三陸北縦貫道路」の一部であり、下閉伊郡岩泉町小本から下閉伊郡田野畑村大芦を結ぶ6.2kmの自動車専用道路です。

岩泉町小本地区の線形不良箇所など交通の難所を回避するためバイパスを整備し、救急搬送や緊急物資輸送時の安心・安定した走行が確保されます。

H22年度は、全線完成2車線供用に向けて、トンネル管理設備、舗装工事等を実施します。

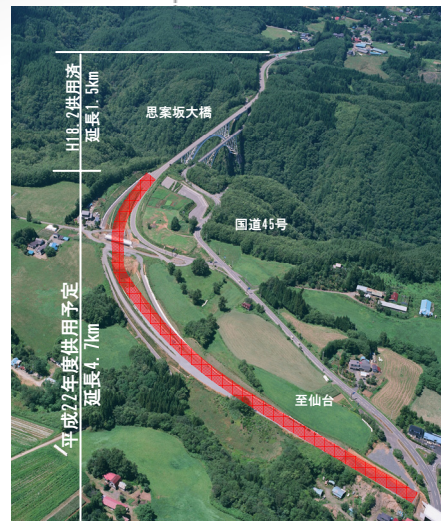
・平成22年度工事関係費：1,300百万円



▲交通の難所 中野坂



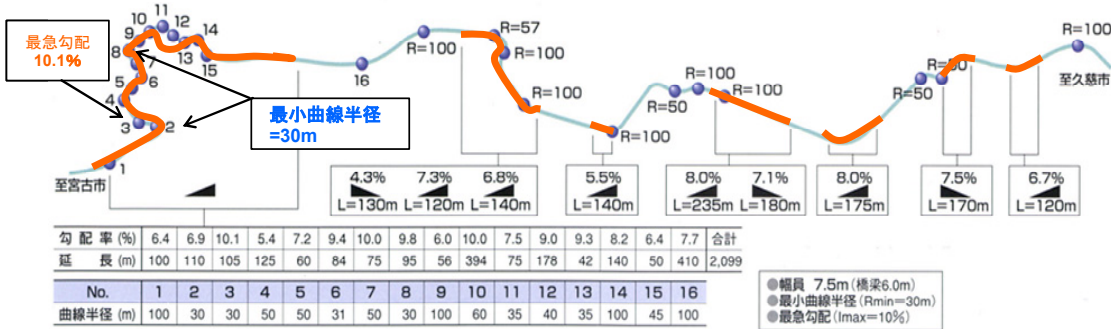
▲並行する国道45号最急縦断勾配10%



▲整備が進む中野バイパス(田野畑村南大芦)

- 急勾配箇所 (I ≥ 5.0%) ⇒ 3.4 km解消
- 急カーブ箇所 (R ≤ 100m) ⇒ 27箇所解消

【並行する国道45号の現況】 R=100m以下 急カーブ27箇所



▲交通の難所「中野坂」の隘路箇所数

平成22年度 釜石港湾事務所の事業概要

平成22年3月
国土交通省 東北地方整備局
釜石港湾事務所

(問合せ先)

国土交通省 東北地方整備局 釜石港湾事務所

岩手県釜石市港町二丁目7番27号

TEL 0193-22-9118

FAX 0193-22-4651

副所長 長尾 憲彦

企画調整課長 渡部 秀幸

平成22年度 予算のポイント

〔安全で安心できる地域づくり〕

- 恒久的な津波対策と港内の荷役稼働率向上のため、“久慈港”において、**湾口防波堤**の整備を推進します。

〔地域の資源・特性を活かした観光振興による地域づくり〕

- 三陸の豊かさを実感できる交流拠点、海洋レク等の形成と航行船舶の安全を確保するため、“宮古港”において、**防波堤**の整備を推進します。

平成22年度工事関係費

(単位:百万円)

港名	平成21年度当初	平成22年度当初	増▲減	前年当初比	備 考
久慈港(港湾)	2,245	1,494	▲ 751	0.67	【湾口地区 防波堤】
久慈港(海岸)	169	211	42	1.25	【湾口地区 防波堤】
宮古港	283	86	▲ 197	0.30	【竜神崎地区 防波堤】
大船渡港	52	0	▲ 52	-	【永浜地区 岸壁(-13m)】
合計	2,749	1,791	▲ 958	0.65	

港別実施概要

- 久慈港 湾口防波堤の延伸を実施
 (実施概要) ケーソン製作 4函
 ケーソン据付 2函(60m)
 その他関連工事 1式
 (参考:H22d末での事業進捗計画)
 据付延長(920m/3,800m) 24. 2%
 事業換算 33. 8%

- 宮古港 竜神崎防波堤の延伸を実施
 (実施概要) 基礎工延伸 15m
 (参考:H22d末での事業進捗計画)
 据付延長(290m/400m) 72. 5%
 事業換算 75. 6%

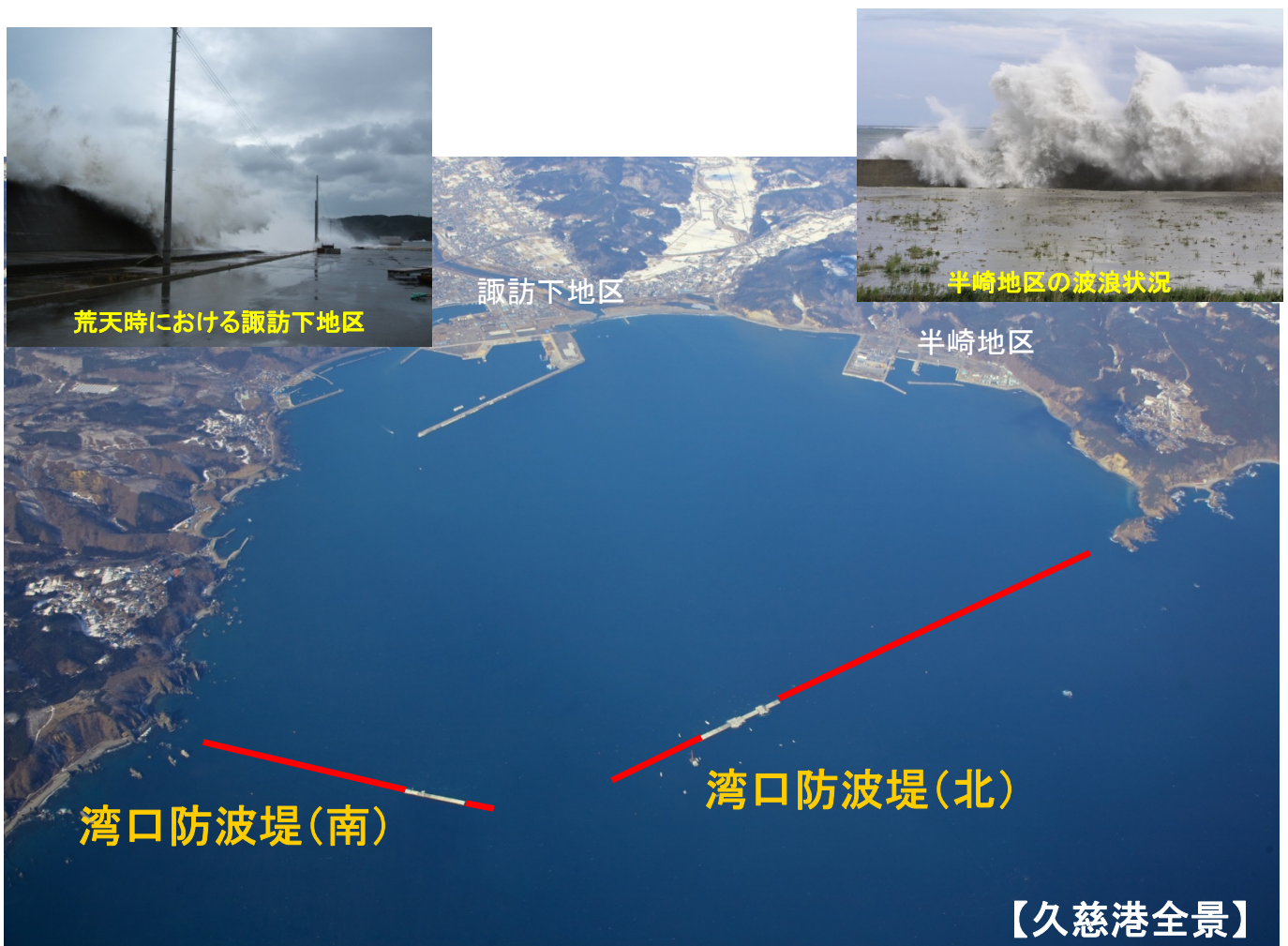
久慈港湾口地区防波堤整備

主な施設

☆概要

久慈沿岸は地理的、地形的に津波被害を受けやすい状況にあり、過去幾度となく多くの人命、財産が失われているため、1日も早い恒久的な津波対策が求められています。このため平成2年度から湾口地区に防波堤の建設が進められています。防波堤を整備することにより明治三陸級津波の来襲時においても防潮堤より低い水位に減衰することができ、更には港湾整備に必要な静穏海域を確保することができます。

平成22年度は引き続き防波堤を延伸します。



☆整備効果

- 津波災害からの生命・財産等の防護
- 港内静穏度の向上による安全な岸壁荷役
- 荒天時における船舶の避泊水域の確保
- 静穏海域の創出
 - ・地場資源の活用
 - ・快適な親水空間の確保
 - ・産業振興による雇用創出